

市民生活を守るまちづくりを目指して

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかな新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

年頭にあたり、甚大な被害をもたらした東日本大震災により、未だ仮設住宅で厳しい環境にある被災者の方々のためにも、復興が一日も早く成し遂げられ、生活が安らかになるよう念願するとともに、改めてお見舞いを申し上げます。

さて、農業を基幹産業とする本市としては、政府の環太平洋連携協定（TPP）への交渉参加決定は、将来を左右する問題であります。政府へは交渉を進める上での明確な見解と情報提供を訴えて参る所存であり、本市の農家経営の安定と競争力強化に向けた「つがるブランド」の更なる推進と継続が必要であると考えております。

より多くの消費者に「つがるブランド」を認知していただくため、トップセールスの継続や直接販売に取り組む一方、収穫体験ツアー等の実施や地元消費の拡大を進めながら、生産者の生産意欲向上にも努めて参ります。

す。

また、「地産地消」による販売促進を図るため、柏地区にある農産物直売所の建設に着手いたします。建設にあたっては従前に取得した用地を活用し既存直売所を解体することで、大幅な施設拡充と駐車スペースを確保し、柏地区のみならず市内全域から販売会員を募るなど農産物の販売、情報発信など複合的な機能を有する拠点性の高い施設として整備して参ります。

東北新幹線の開業を契機に、本市の「馬市まつり」を題材としたショートムービーが公開され、さらには、今春3月下旬に本市をロケ地とした日中友好40周年記念映画「明日に架ける愛」が日中両国で上映されることから、その後のロケ地訪問など新たな観光客の誘客に繋がるものと期待しております。

医療分野の取り組みについては、自治体病院機能再編計画に伴い、成人病センターが診療所として機能を移行することから、老朽化した成人病センターに替わる新たな診療所の建設が始まります。

他方、検診体制の拡充を図る

べく、がんの予防と早期発見を目的とした胃がん撲滅検診事業を本年4月から実施し、市民の若年層（20歳～39歳）を対象としたピロリ菌感染検査と除菌治療をつがる市と弘前大学病院医学部とが共同で行い、検査料及び治療費は市が全額負担するものです。

市民の生命と健康を守る医療サービスと検診体制の充実を図り、質の高い医療を安心して受けられる環境を整えることが最も大切であると考えております。

本市の公営住宅につきましては、耐用年数を越え老朽化が著しいこともあり、入居者の安全確保、生活環境の向上を図るべく、桜木団地の大規模な市営住宅建替事業を計画的に推進することといたしました。

本住宅建替事業は、既存の桜木団地の敷地に加え、隣接する旧技術専門校跡地及び周辺農地を取得することで、ゆとりある公共空間と良質な魅力ある住環境を提供することとなり、平成25年度着工を目指し、用地取得、旧技術専門校の解体、実施設計の策定に取り掛かります。

児童福祉施策につきまして

は、本市独自の子育て支援事業である医療費全額助成（医療費無料化）を昨年より実施することと、子育て家庭の経済的負担の軽減を図って参りました。

今年は、引き続き、ひなた児童館の改築など、児童の健康増進と情操教育の推進に取り組んで参ります。

今後とも地域の発展や安全・安心のまちづくりに全力を尽くす所存でありますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新春の門出にあたりまして、市民皆様のご多幸とご健康を祈念申し上げます、年頭のご挨拶といたします。

つがる市長

福島 弘芳

Fukushima Hiroyoshi



決意も新たに議会の使命を果たす

迎春

2012年

年頭あいさつ

新年おめでとうございます。

市民の皆様には、清々しく新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。

昨年2月、私も議員一同は、つがる市議会議員として新たなスタートを切らせていただきました。また、私ごとではありますが、議長の重責を担うことになり、以来、より開かれた議会を念頭にその運営に努めて参りました。今後もより一層暮らしやすいつがる市実現のため、鋭意努力して参りたいと決意を新たにしております。

さて、国難ともいふべき東日本大震災から10カ月が経過いたします。

本市に大きな被害がなかった事は幸いでしたが、今回を教訓に、議会においても市の防災体制について要望や質疑が出され、早急な整備の実施と検討課題が確認されました。

福島第一原発事故による放射性物質汚染についても、検査の

結果、米、野菜共に検出されなかったことは幸いでした。しかし、風評被害による牛肉価格下落に伴う影響、リンゴの輸出量減少といった経緯がありました。安全性について、市当局とともに機会あるごとにアピールして参りたいと思っております。

政府が交渉参加を表明したTPPについては、市議会として、すでに交渉参加に反対する旨の意見書を提出しており、市や関係機関と共に、今後の国の対応を注視していく必要があります。

最大の関心事であるつがる総合病院もいよいよ着工されました。医師確保や送迎バス等、山積する課題について、定例会において複数回取り上げておりますが、サテライト診療所建設の事案も含め、市民が安心して医療を受けられる体制作りのため、今後も市当局に対し積極的にはたらきかけて参ります。

いまひとつの関心事である、木造地区市営住宅建て替え計画についても、昨年9月議会において進捗状況についての質疑が出され、市当局より平成24年度の用地買収と建物解体の計画が明示されましたが、建設促進及び住み替えについても、住民福祉の視点に立ち、今後も進言して参ります。

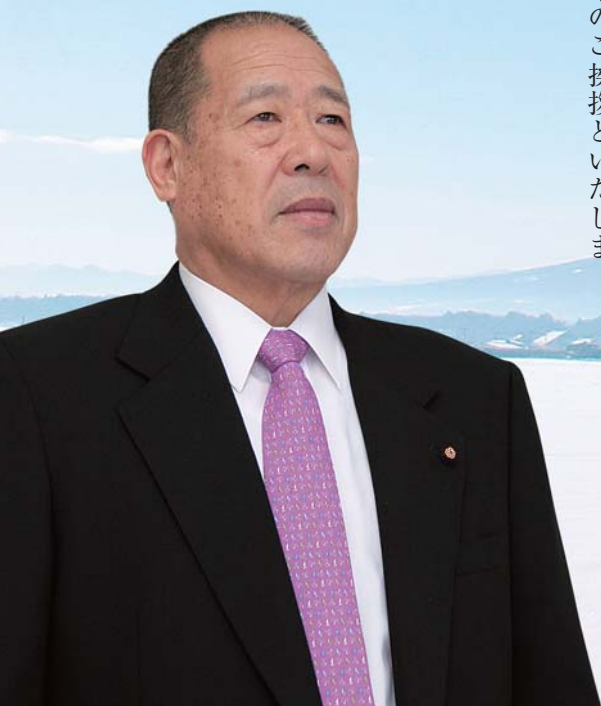
昨年8月、突然の報道で明らかになった風力発電施設については、事業者による地元説明会が順次実施される予定とされておりますが、市議会としても、慎重に議論を尽くして対策に取り組んでいく必要があると感じているところであります。

また、12月には、木造地区に建設中の向陽小学校校舎が完成しました。ユニバーサルデザインを取り入れた木のぬくもりの感じられる校舎に仕上がっており、教育環境が着々と充実していくことは喜ばしい限りであります。

さて、私も市議会は社会経済状況、また、市の財政状況に鑑み、昨年6月議会において次期市議会議員の選挙から議員定数「24名」を「20名」に削減する条例を可決いたしました。

今後も、議会の更なる活性化、機能強化を図り、市民の皆様への意思反映機関として粉骨碎身、臨んで参ります。

市民の皆様には変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、ご健勝とご多幸を心から祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。



つがる市議会議員長

山本 清秋

Yamamoto Kiyooki